

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業		担当部局	スポーツ・青少年局		作成責任者	学校健康教育課長 大路 正浩	
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度		担当課室	学校健康教育課				
会計区分	一般会計		施策名	Ⅱ-4 健やかな体の育成及び学校安全の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	学校保健安全法第10条		関係する計画、通知等	学校保健法等の一部を改正する法律案に対する付帯決議 (平成20年6月10日参議院文教科学委員会) 教育振興基本計画(平成20年7月1日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	学校及び設置者である教育委員会が既存の枠組みを超えて、地域の専門医・専門機関との連携、それぞれ取り組むべきことを明確にしていく中で、地域全体で学校保健活動を推進する体制を構築し、ストレス等に起因するメンタルヘルスの問題やアレルギー疾患等の現代的健康課題を抱える児童生徒の健康の保持増進を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	各診療科の専門医を学校に派遣し、専門医による児童生徒等の健康相談等を行うとともに、専門医や各市町村の保健部局と連携しながら、子どもの健康管理の充実や保護者への啓発活動等をモデル的に行う実践事業を実施する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	-	-	-			
		繰越し等	-	-	-			
		計	115	56	30			
	執行額	95	95	27.8				
	執行率(%)	82.6%	169.6%	92.7%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	地域全体で学校保健を推進する体制を構築し、地域の専門医等の派遣を推進する都道府県等の数		成果実績	県数	45	47	47	
			達成度	%	95.7%	100.0%	100.0%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	学校等への専門医等の派遣		活動実績	回 (平均)	2,596 (57.7)	3,000 (69.8)	1,083 (24.6)	
	事業を実施している都道府県等の数		活動実績	自治体	45	47	44	
単位当たりコスト	25,728(円/回)		算出根拠	単位当たりコスト=27.8百万円(支出額)/専門医等派遣回数(1,083回)				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
				平成23年度限りで廃止				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	×	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	有益な事業であるが、事業仕分けの結果等を踏まえ、国として実施しないこととした。
	×	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定に当たっては、十分な公告期間を確保した上で公募を実施しており、その妥当性や競争性を確保し、コストの削減に努めていたところである。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	これまで事業を着実に実施してきたことにより、成果目標を達成できている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・予算の執行状況に係る点検方法については、事業完了報告書等の証拠書類により適切な執行が行われているか確認している。</p> <p>・本事業は、平成21年度に実施された行政刷新会議「事業仕分け」の結果を踏まえ、平成23年度までに段階的に廃止するとしていたため、予定どおり平成23年度限りで廃止した。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
<p>本事業は、地域全体で学校保健活動を推進する体制を構築し、ストレス等に起因するメンタルヘルスの問題やアレルギー疾患等の現代的健康課題を抱える児童生徒の健康の保持増進を図る事業であるが、平成21年度に実施された事業仕分けの結果を踏まえ、平成23年度をもって廃止している。</p>			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）</p> <p>○事業仕分け第1弾 事業番号3-8(2) 事業仕分け結果等 「子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業」 ・評価結果:国として事業を行わない ・とりまとめコメント 「子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業」については、廃止とする評価者が5人、自治体/民間とする評価者が6人であり、国で行う必要性がないという結論にさせていただく。</p> <p>○平成22年度は、他事業から流用しているため、執行率が100%を超えている。</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0086	平成23年行政事業レビュー	0317

文部科学省
27.8百万円

職員旅費
教職員研修費

0.04百万円
0.3百万円

を含む

〔各診療科の専門医等を学校に派遣し、専門家による教職員への指導助言、講話や講演、児童生徒等の健康相談を行う事業を委託〕



【公募・委託】

A教育委員会
(全44都道府県・政令指定都市)
27.5百万円

〔子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業〕

※単位未満四捨五入の関係で合計と積み上げは一致しない。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.宮城県教育委員会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	専門医等派遣謝金	1.2			
その他	専門医等派遣旅費、通信運搬費	0.4			
計		1.6	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	宮城県教育委員会	専門医等派遣	1.6	企画競争	—
2	福島県教育委員会	専門医等派遣	0.7	企画競争	—
3	島根県教育委員会	専門医等派遣	0.7	企画競争	—
4	高知県教育委員会	専門医等派遣	0.7	企画競争	—
5	京都市教育委員会	専門医等派遣	0.7	企画競争	—
6	富山県教育委員会	専門医等派遣	0.6	企画競争	—
7	静岡県教育委員会	専門医等派遣	0.6	企画競争	—
8	大阪府教育委員会	専門医等派遣	0.6	企画競争	—
9	山形県教育委員会	専門医等派遣	0.6	企画競争	—
10	石川県教育委員会	専門医等派遣	0.6	企画競争	—